

感染症ニュース

No.218 2023/06/16

文責：竹鼻 純子

<流行中の感染症>

感染性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎が流行している。その代表であるノロウイルスにはアルコール消毒は無効なので、アルコールによる手指消毒を過信せず、石鹸による手洗いを徹底することも重要。気温と湿度が高くなる今後は、細菌による食中毒にも要注意。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

富山県での感染者数は、感染性胃腸炎と同率の第1位で、毎週、さらに少しずつ増えている。第9波に入ったとの報告もあり、高齢者の重症化予防のための6回目のワクチン接種や、高齢者施設などでの徹底した感染予防策の継続は必要である。感染拡大を最小限にするために、今後、普段の生活でも基本的な予防策を継続し、手洗いに加え、特に3密となるような場面ではマスクを着けることが推奨される。

ヘルパンギーナ、手足口病

夏に多い感染症で、発疹が口の中だけにできるのがヘルパンギーナ、手・足・口にできるのが手足口病である。高熱や痛みで飲食ができず、脱水症になったり、髄膜炎や脳症を合併したりすることもある。ウイルスは便中にも1カ月間存在する。

溶連菌感染症

発熱、のどの痛み、発疹が主症状で、小児のみならず成人の感染も多い。例年、秋から冬を通して春先にかけて流行する。再感染や再発例も多い。

アデノウイルス感染症 (プール熱、咽頭結膜熱)

急な発熱が数日続くが、比較的元気なことが特徴で、のどの痛み、眼の充血や目やにを伴うこともある。夏に流行しやすく、感染力が非常に強いので、要注意。

インフルエンザ

インフルエンザの流行は下火になってきたが、まだ一部の都道府県では集団発生が見られ、学級閉鎖や休校も報告されている。流行の主流はA 香港型(AH3)だが、富山県では2009年の新型(AH1pdm09)も検出されている。過去2シーズン、全く流行がなかったため、毎年ワクチン接種をしても抗体価は低いと考えられ、感染し発症する可能性が高いので要注意。